

11月から新たな返礼品が追加されます! 町田の魅力盛りだくさん! 市民のみなさんも町田を再発見!



町田市にふるさと納税をしていただいた方に、これまでの返礼品に加え、町田ならではの歴史や文化を体感していただける「町田を知る」招待券や、町田市在住の絵本作家の直筆記念カード・特製ポストカード、町田ならではの逸品など、新しい返礼品をご用意しました。この機会に新たな町田の魅力を見つけてみませんか。

見学や体験ができる返礼品



Aコース 旧白洲邸 武相荘 見学コース 武相荘入館券+館内利用券

武相荘の入館券と館内で使える利用券がセットになった返礼品です。
※館内利用券は館内飲食店やショップでご利用いただけます。



武相荘は、戦後の新憲法制定に深く関わった白洲次郎と、美術評論家・随筆家で町田市名誉市民第1号でもある白洲正子の自宅でした。茅葺屋根の古民家をそのまま再生しながら暮らすという白洲夫妻の美的、文化的趣味が体现された空間が残っており、「旧白洲邸武相荘」として、一般公開されています。

他にも

Bコース 小野路宿里山交流館 体験コース～うどん作り体験+館内利用券

Cコース ふるさと農具館 「なたね油しぼり」見学コース～絵本「油ができるまで」+館内利用券

Dコース ブルーベリー狩り&ジャム・カレーライス作り体験ツアー (開催日=2018年8月5日(日))

などの「町田を知る」返礼品もまりました!

中垣ゆたかさん 限定返礼品



中垣ゆたか

1977年北九州市小倉生まれ。町田市在住。帝京大学経済学部卒業。2005年よりフリーのイラストレーターとして活動。絵本に『ぎょうれつ』(借成社)、『さがすえほん ごちゃまぜ』(佼成出版社)、『タロとチーコのひみつのだいぼうけん』(小学館)などがある。ブログにて4コマ漫画「町田家、あさって、しあさって。」を毎日更新中。

町田市在住の絵本作家、中垣ゆたかさんの作品が返礼品になりました! いずれの返礼品もここでしか手に入らない限定品です。この機会をお見逃しなく!

1万円コース 中垣ゆたかさんサイン入り絵本&特製ポストカードセット(10枚入)

中垣ゆたかさんのサイン入り絵本『ぎょうれつ』に加え、町田の名所を描き下ろしたふるさと納税限定の特製ポストカード(10枚入)がセットになった返礼品です。

2万円コース(限定10名) あなただけのオリジナルカードをお届け!直筆記念カード&特製ポストカードセット(10枚入)

中垣ゆたかさんがあなたのために特製カードを作ります!世界に1つだけの限定カードを額縁に入れて、お届けします。



返礼品の詳細はパンフレットをご覧ください。町田市ホームページをご覧ください!

上記の新しい返礼品のほか、町田ならではの逸品もご案内しています!

町田市のふるさと納税の現状

ふるさと納税額と寄附金控除額の推移

現在、市への「ふるさと納税」で入る金額よりも、市民の寄附金控除額(※)の方が多くなっています。その差は年々拡大しています。

このまいくと、2017年度の赤字額は4.5億円になる見込みです。これは保育施設整備(約50人規模の施設で約10園分)に必要な町田市の負担額に相当します。このまま町田市へのふるさと納税額と寄附金控除額の差額が拡大していくと、市の予算が減少し、市民サービスに影響を及ぼします。

※市民が、他の自治体へふるさと納税をすることによって、町田市の市民税から控除される額です。

多摩26市の中で見ると2016年度ふるさと納税受入金額

一方で、町田市は多摩26市中では上位の寄附金額となっています。寄附していただいている方の55%は市内にお住まいの皆さんです。

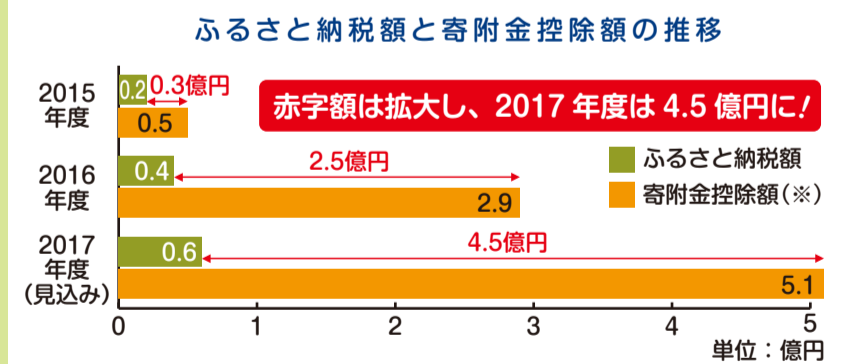
ふるさと納税の申し込み方法は?

インターネットからは、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」をご利用下さい。

町田市ホームページふるさと納税QRコード



書面での申し込みは、市庁舎、各市民センターに設置している「寄附申出書」に必要事項を記入し、直接または郵送で財政課(市庁舎5階、〒194-8520、森野2-2-22)へ。申請書は、町田市ホームページでダウンロードもできます。



多摩26市で比較した個人の寄附金 2016年度

順位	寄附金額 (万円)	寄附件数 (件)
1位	国立市 8649	国立市 1061
2位	町田市 4273	狛江市 927
3位	狛江市 2654	日野市 890
4位	青梅市 2577	青梅市 814
5位	調布市 2296	町田市 732

市民のみなさんも、ふるさと納税で、ぜひ町田市を応援して下さい!!

